



環境意識向上に向けて、吹田市民への学生目線の情報発信



吹田市環境表彰式典

DATA

■主な連携先・メンバー

吹田市役所／アジェンダ21すいた／吹田市内の環境に関する各種NPO法人／関西大学経済学部良永康平ゼミ

■活動地域

大阪府吹田市／関西大学千里山キャンパス

■活動期間

2006年度～継続中

■活動資金

吹田市からの『エコレター』作成にかかる編集経費

活動の目的

- 1 環境に関する情報を、市民目線でわかりやすく提供し、ともに環境問題を考える
- 2 吹田市内の公共施設や自然環境で情報収集を行うとともに、吹田市の各種環境イベントやシンポジウム等にも参加し、環境を通して市民との交流を深める



連携にいたる経緯

2006年に故木村洋二社会学部教授から引き継ぎの依頼を受けて、『エコプレス』という年4回発行の冊子による吹田市民への環境情報の提供が始まった。以来、約50号の刊行を行ってきたが、2019年度からは『エコレター』と名称が変わり、また編集体制も良永ゼミ単独から、アジェンダ21すいた等の市民との協同編集になった。



吹田市環境表彰式典



活動内容

現在の主要な活動は、アジェンダ21すいたの方々とECOLETTER(エコレター)を年4回発行し、市民に環境問題に関する学生目線の情報を提供しつつ、環境保全に向けて共に検討・行動してゆくことである。

この編集のために、学内では書物の輪読や議論、学外ではゴミ処理施設や発電施設等々の見学、調査をおこなっている。また環境関係の各種イベント、シンポジウム、フォーラム等に積極的に参加し、市民との交流を深めている。



活動の成果

- 1 2006年以来、年4回のエコプレスを2019年4月号まで良永ゼミ単独で刊行
- 2 2019年7月号以降は、アジェンダ21すいたとの共同刊行
- 3 吹田・能勢の里山マルシェ、街と里を考えるフォーラム、プラスチックゴミ動画コンテスト等への参加

今後の課題・目標

- 1 自ら学び、調査した情報を、今後も市民に提供し、市民と議論する
- 2 吹田のゴミ処分場や下水道、再生可能エネルギー発電施設等を見学、調査する
- 3 吹田や大阪の自然、里山と生物多様性、食農の現状等についても調査する

教員紹介



■経済学部 教授

良永康平

Kouhei Yoshinaga

福岡県久留米市生まれ。1981年一橋大学経済学部卒業、1986年同大学院修了の後、1989年本学経済学部採用。国民経済計算論、産業連関論等の経済統計学が専門。現在のテーマはEU、地域、環境の統計。高校時代に読んだ『かけがえのない地球』、大学時代に読んだ『エントロピーの法則』以来、環境問題はライフワークの1つであり、ゼミ生には上から教えるのではなく、ともに学び、ともに調べるというスタンスで接している。